

リノベしてステキに暮らす!
いくのdeリノベ

素材とおいしさにこだわって30年。
ぱん食店 こさり



北巽駅から東へ徒歩5分、勝山通沿いにある「こさり」は、天然酵母や国産小麦を使用するなど、素材にこだわったパン屋さん。大きな窓のある明るい店内。できたてのパンや焼き菓子などが並び、カフェスペースではゆっくりとした時間を過ごすことができる。

ここでは、働くスタッフの半数が障がいをもっている。代表の今井満彦さんが障がい者の就労継続支援事業所(当時は福祉作業所)として「こさり」を立ち上げたのは、30代半ばの時だった。当時、一般企業で働いていた今井さん。娘さんが通う学童で出会った重度の障がいを持つ青年が、それまで福祉と関わりのなかった今井さんの人生を大きく変えた。身寄りがなく、地域のボランティアの人たちによって育てられていたその青年に、強く惹きつけられるのを感じ、彼を支える活動に自然と加わったという。

今井さんと同じように仕事を辞め、障がい者とともに働いていくことを決めた仲間たちや、その青年を支えてきた地域の人たちとともに、資金を集め路地裏の一軒家を買った。2階を彼の住居にし、1階はパン屋に。障がいがある人もない人も対等に働けて、外向きの明るい仕事があったと話す今井さん。しかし、みんなパン作りは初めてのことで、試行錯誤のスタートだったという。

徐々に固定客も増え、みんなに芽生えてきたパン作りへの自信は、「いつか日当たりの良い大通りにお店を出したい」という夢となり、2000年7月、現在の場所を思い切って購入することに。「こさり」が誕生して12年後のことだった。

元は居酒屋として使われていた3階建ての建物を、1階は店舗、2階はパン工房、3階は事務所と休憩場所にリノベーション。店内は、車イスのお客さんも利用できる仕様だ。「体にやさしい素材」と「おいしさ」にこだわる当初からの理念は、30年経った今も変わらない。今日も「こさり」はたくさんのパンでお客さんを迎える。



黒板調の壁には、大地の恵みを受けてパンができていくまでのストーリーが描かれている。素材にこだわる「こさり」のイメージとピッタリだ。



▲代表の今井さん(左)と販売担当のスタッフ



★ぱん食店 こさり
〒544-0004 生野区巽北4-13-20
☎6756-7131

ブログでは写真を追加して紹介しています。



生野区在住で、古い家屋をリノベーションし、自分らしい暮らしをしている方を紹介してください。

連絡先 区企画総務課 ☎6715-9683
〒544-8501 生野区勝山南3-1-19

★空き家の相談はこちら
区地域まちづくり課 4F ☎6715-9734

もっと知れば
もっと好き

60カ国以上の方が暮らすまち /



Dennis さん
(デニス)

フィリピン出身。お父さんが日本人でお母さんがフィリピン人。フィリピンの大学でホスピタリティを専攻。卒業後、5年前に家族で日本に。現在は、小学校の英語教師。子ども達の笑顔に会えるこの職業がお気に入り。

サクラピクニック!

フィリピンは1年中ずっと夏。でも日本では、季節があって、春になると桜が咲いて、僕は友達みんなが集まって、弁当を広げて、桜の花と一緒に楽しむんです。僕は冬が苦手だけど、桜の咲く季節がすごく楽しみだから、なんとか乗り切れるんだ(笑)。

スキヤキ

スキヤキがホントに大好きです!甘いタレと生たまごがからんですごくおいしい。いろんな国の友達と食べに行ったりします。それぞれの国で食の文化は違うけど、日本のスキヤキは、みんな大好きな味だと思う。ご飯が止まらなくなります(笑)。



(マガンダン アラウ)
Magandang araw!
こんにちは!

僕が好きなフィリピンの家庭料理、「シニガン」の豚肉と野菜がたっぷり入った酸っぱいスープで、カレーみたいなご飯と一緒に食べるのがオススメ!



IKUNO x グローバルは生野区ブログでも発信しています。

生野区 チームいくみんな通信



ものづくり企業は地域の誇り /

ピックアップ 生野ものづくり百景

株式会社乾レンズ

日常使いのできる透明な「サングラス」で勝負!



▲ オールタイムサングラス

主力製品である「オールタイムサングラス」とは、透明もしくはライトカラーのレンズでありながら、有害な紫外線を99%以上カットし、さらにパソコンや携帯などからのブルーライトも独自のコーティング技術でカットする、まさに朝から夜まで目を守ることでできるサングラスのことだ。このレンズを開発したのは、昭和28年創業の乾レンズ。父から会社を引き継いだ現社長の乾喜則社長は、クオリティの高いレンズの開発に力を注いできた。

生野区にある本社でレンズを製造したのち、福井県鯖江市に出荷し加工する。鯖江の多くのメガネメーカーと取引を続け、欧米や香港での展示会にも積極的に参加し、レンズの85%は海外へ輸出している。技術力の高さから、海外のデザイナーからのオファーも絶えない。



最近紫外線やブルーライトへの関心が高まってきてますよね。サングラスがもっと身近なものになったらいいなと思ってます。

▲社長の乾喜則さん

株式会社乾レンズ
〒541-0011 生野区田島6-17-3
☎6758-1805

“きらりと光る”ものづくり企業をたくさん紹介しています。

生野区ものづくり百景

